

観光型MaaS「三浦Cocoon」の実装による分散化・混雑回避事業

(事業の概要を記載)

観光型MaaS「三浦Cocoon」と「観光ナビ」を連携させ、風光明媚なスポットや施設を巡る観光ルートを生計・発信することで、渋滞の解消など社会課題の解決を図る。同時にモビリティ基盤も整備することで三浦半島の観光周遊化を実現する

協議会の 構成員	観光型MaaS三浦Cocoon推進協議会 京浜急行電鉄株式会社(幹事社)、株式会社アイシン、株式会社サン オータス、みうらレンタサイクル運営協議会、scheme verge株式会社、ジョ ルダン株式会社、横須賀市、三浦市	
地域 課題	【課題①】特定エリアやルートへの集中による渋滞や密集 特定幹線道路への集中や駐車場不足で渋滞が慢性化しているうえ、各所 で旅客密集も発生しており、ルートや時期の分散、感染拡大配慮が必要 【課題②】観光情報不足による消費機会ロス 「よこすか満喫きっぷ」等で多くの観光客が訪れるが、飲食後の滞在コンテン ツや交通手段がわからずそのまま帰宅してしまうため、機会損失が生じている。 【課題③】観光拠点を回遊するためのモビリティ整備の必要性 点在する自然環境や店舗施設などを回遊する2次交通拠点が不足	
事業 概要	サービス 開始時期	2021年12月
	エリア	横須賀市、三浦市エリア ※三浦CocoonFamilyには、鎌倉市/逗子市/葉山町も参加
	MaaS システム	①観光型MaaS「三浦Cocoon」 ②アイシン「観光ナビ」
	交通 サービス	「Cocoonモビリティパッケージ」 鉄道、バス、タクシー、カーシェア、レンタサイクル、電動キック ボード、キャンピングカー、ヘリなど
	交通以外 のサービス	「三浦CocoonFamily」参加各団体(2021年7月時点88団体) ※三浦Cocoon Familyに参加している自治体、観光協会、 アクティビティ事業者、サポート企業、京急グループ施設等

事業 目的	【事業①】「観光ナビ」による行動変容(混雑回避と周遊化) 事前に回遊してもらいたいルートを作成し、旅客の行動変容を促すことで、 渋滞の解消や観光消費の拡大など、社会課題の解決を達成する。
	【事業②】観光型MaaSとのシステム連携による消費拡大 「よこすか満喫きっぷ」デジタルチケット化など観光型MaaS「三浦Cocoon」と 連携した観光案内を展開、地域事業者が相互に利用客に対してリコメンド、 集客することにより回遊を促進し、滞在時間と観光消費拡大を目指す。
	【事業③】事業者連携で2次交通基盤を整備 「Cocoonモビリティパッケージ」として11事業者が共同で拠点開発を行うこと で、公共交通へのシフトやCO2排出の抑制も実現する。

観光型MaaS「三浦Cocoon」と「観光ナビ」連携によるサービスイメージ

①「観光ナビ」による行動変容

課題①に
対する
施策

交通渋滞が
発生しやすい
ルート

渋滞を回避し
景観も良い
ルートを提案

自動車だけでなく、
自転車や徒歩でも利
用できるナビ

おすすめルート
を自分のスマホ
で見ながら観光

ガイドポイントに
近づくと、写真や
音声で自動出力

事前登録により
混雑を回避し、
周遊化を促進

②観光型MaaSとのシステム連携による消費拡大

課題②に
対する
施策

三浦 COCOON

エリア共通
予約/決済
プラットフォーム

【新たな観光体験】
(旅行者) 行き方/予約/決済のワンストップ化、混雑回避も、
(事業者) 位置/嗜好に応じたリコメンドにより相互送客する。

システム基盤連携
により回遊性向上

③事業者連携で2次交通基盤を整備

「Cocoonモビリティパッケージ」として、11事業者が共同で
電動キックボード、レンタサイクルなどモビリティ拠点を開発

課題③に
対する
施策

評価指標、目標、測定方法などを記載 <ul style="list-style-type: none"> ● 三浦Cocoonサイトアクセス数：45,000セッション ● 観光ナビ利用回数：1,000回 ● 総合満足度：80%以上

今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ● 「よこすか満喫きっぷ」に続き、「みさきまぐろきっぷ」、「葉山女子旅きっぷ」の常設デジタルチケッ ト化を実現し、さらなる付加価値拡大を目指す。 ● 観光型MaaS「三浦Cocoon」の機能拡充を進め利用拡大を図る。 ● 観光領域での実績拡大を活かし、都市型、沿線型といった生活領域へのMaaS基盤拡大 ● 最終的には、MaaSレベル4(社会目標の統合)を実現し、データに基づくまちづくりとエリアマネジ メントを目指す。

三浦Cocoon Family 88 団体参加